Hitachi Koki

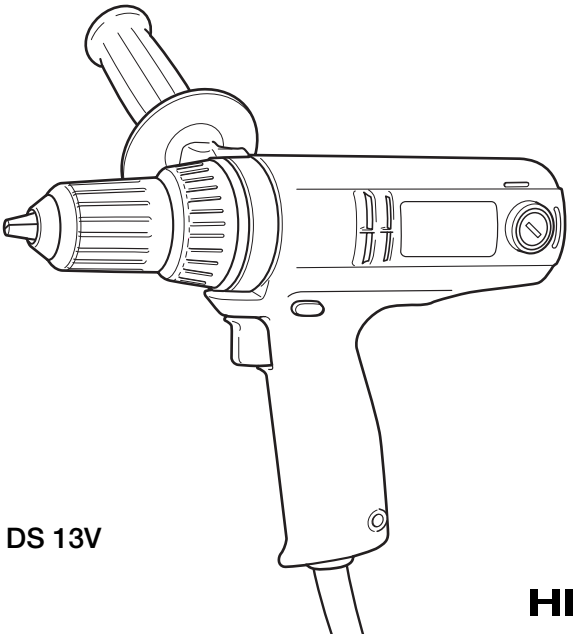
日立ドライバドリル

10mm DS 10V
13mm DS 13V

取扱説明書

このたびは日立ドライバドリルをお買い上げいただき，ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり，正しく安全にお使いください。
お読みになった後は，いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

二重絶縁



DS 13V

HITACHI

目　次

ページ

電動工具の安全上のご注意 …… 2

ドライバドリルの使用上のご注意 …… 5

各部の名称 …… 7

仕　　様 …… 7

標準付属品 …… 8

別売部品 …… 8

用　　途 …… 9

作業前の準備 …… 9

ご使用前に …… 10

先端工具の取付け・取りはずし …… 11

使　い　方 …… 12

使用範囲と注意事項について …… 15

締付トルクの選定 …… 16

保守・点検 …… 17

ご修理のときは …… 18

全国営業拠点 ……裏表紙

⚠警告，⚠注意，注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠**警告**」と「⚠**注意**」に区分していますが，それぞれ次の意味を表します。また，「**注**」の意味も説明します。

⚠ 警 告 ： **誤った取扱いをしたときに，使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠ 注 意 ： **誤った取扱いをしたときに，使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお，「⚠**注意**」に記載した事項でも，状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので，必ず守ってください。

注 ： **製品の据付け，操作，メンテナンスに関する重要なご注意。**

電動工具の安全上のご注意

- **火災，感電，けがなどの事故を未然に防ぐために，次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。**
- **ご使用前に，この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上，指示に従って正しく使用してください。**
- **お読みになった後は，お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。**

⚠ 警　告

① 作業場は，いつもきれいに保ってください。
- ちらかった場所や作業台は，事故の原因になります。

② 作業場の周囲状況も考慮してください。
- 電動工具は，雨中で使用したり，湿った，または，ぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

③ 感電に注意してください。
- 電動工具を使用中，身体を，アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
  （例えば，パイプ，暖房器具，電子レンジ，冷蔵庫などの外枠）

④ 子供を近づけないでください。
- 作業者以外，電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業者以外，作業場へ近づけないでください。

⑤ 使用しない場合は，きちんと保管してください。
- 乾燥した場所で，子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。

⑥ 無理して使用しないでください。
- 安全に能率よく作業するために，電動工具の能力に合った速さで作業してください。

⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。
- 小形の電動工具やアタッチメントは，大形の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

⑧ きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は，回転部に巻き込まれる恐れがあるので，着用しないでください。
- 屋外での作業の場合には，ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は，帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

⚠ 警　告

⑨ 保護メガネを使用してください。

- 作業時は，保護メガネを使用してください。また，粉じんの多い作業では，防じんマスクを併用してください。

⑩ 防音保護具を着用してください。

- 騒音の大きい作業では，耳栓，イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

⑪ コードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って電動工具を運んだり，コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱，油，角のとがった所に近づけないでください。

⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。

- 加工する物を固定するために，クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で，両手で電動工具を使用できます。

⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりさせ，バランスを保つようにしてください。

⑭ 電動工具は，注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために，刃物類は常に手入れをし，よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は，取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し，損傷している場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- 継ぎ(延長)コードを使用する場合は，定期的に点検し，損傷している場合には交換してください。
- 握り部は，常に乾かしてきれいな状態を保ち，油やグリースが付かないようにしてください。

⑮ 次の場合は，電動工具のスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いてください。

- 使用しない，または，修理する場合。
- 刃物，トイシ，ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他，危険が予想される場合。

⑯ 調節キーやスパナなどは，必ず取りはずしてください。

- 電源を入れる前に，調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

⑰ 不意な始動は避けてください。

- 電源につないだ状態で，スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- さし込みプラグを電源に差し込む前に，スイッチが切れていることを確かめてください。

⑱ 屋外使用に合った継ぎ(延長)コードを使用してください。

- 屋外で使用する場合，キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの継ぎ(延長)コードを使用してください。

⚠ 警　告

⑲ 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- 電動工具を使用する場合は，取扱方法，作業のしかた，周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは，使用しないでください。

⑳ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に，保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し，正常に作動するか，また，所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締め付け状態，部品の破損，取り付け状態，その他，運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー，その他の部品交換や修理は，取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
  スイッチが故障した場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は，使用しないでください。

㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると，事故やけがの原因になる恐れがあるので，使用しないでください。

㉒ 電動工具の修理は，専門店に依頼してください。

- この製品は，該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は，必ずお買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターにお申し付けください。
  修理の知識や技術のない方が修理すると，十分な性能を発揮しないだけでなく，事故やけがの原因になります。

⧈ 二重絶縁について

電気が流れる導体部と人の触れる外枠部の間が，二つの絶縁物で二重に絶縁されている電動工具であり，この製品には“⧈”マークを表示しています。
二重絶縁工具は，感電に対し安全性が高められています。
異なった部品と交換したり，間違って組み立てたりすると，二重絶縁構造ではなくなり，安全でなくなる場合があります。
電気系統の分解・組立や部品の交換・修理は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターにご用命ください。

ドライバドリルの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが，ドライバドリルとして，さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警　告

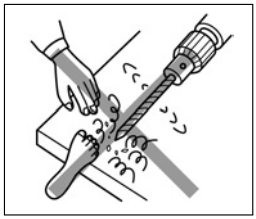
① 使用電源は，銘板に表示してある電圧で使用してください。
表示を超える電圧で使用すると，回転が異常に高速となり，けがの原因になります。

② 作業する箇所に，電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを，作業前に十分確かめてください。
埋設物があると工具が触れ，感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり，事故の原因になります。

③ 使用中，振り回されないようにサイドハンドルを付け，本体を両手で確実に保持してください。
確実に保持していないと，けがの原因になります。

④ 使用中は，工具類や回転部，切粉などの排出部に手や顔などを近づけないでください。
けがの原因になります。

④



⑤ 使用中，機体の調子が悪かったり，異常音がしたときは，直ちにスイッチを切って使用を中止し，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに点検・修理を依頼してください。
そのまま使用していると，けがの原因になります。

⑥ 誤って落としたり，ぶつけたときは，工具類や機体などに破損や亀裂，変形がないことをよく点検してください。
破損や亀裂，変形があると，けがの原因になります。

⚠ 注　意

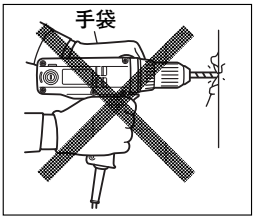
① 先端工具や付属品は，取扱説明書に従って確実に取り付けてください。

確実でないと，はずれたりし，けがの原因になります。

② 使用中は，軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。

回転部に巻き込まれ，けがの原因になります。

②



③ 穴あけ直後の錐や切りくずは高温になっているので，触れないでください。

やけどの原因になります。

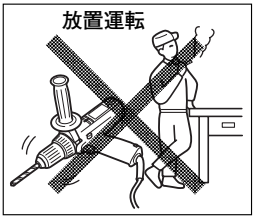
④ 高所作業のときは，下に人がいないことをよく確かめてください。また，コードを引っかけたりしないでください。

材料や機体などを落としたときなど，事故の原因になります。

⑤ 回転させたまま，台や床などに放置しないでください。

けがの原因になります。

⑤



各部の名称

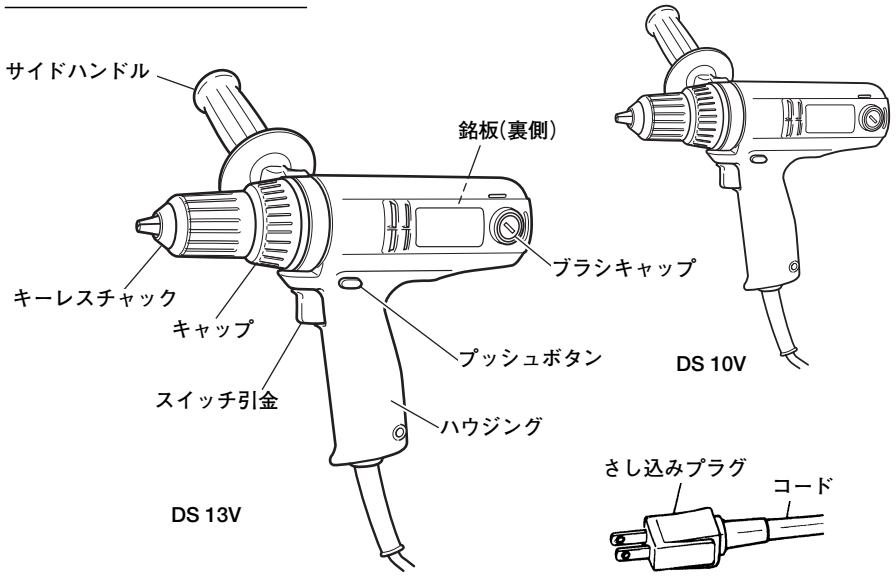


図　1

仕　　様

			DS 10 V	DS 13 V
使用電源			単相交流 50／60 Hz 共用　電圧 100 V	
能力	穴あけ	鉄工	10 ㎜	13 ㎜
		木工	24 ㎜	30 ㎜
	ネジ締め	小ネジ	6 ㎜	
		木ネジ	呼び径 5 ㎜×長さ 50 ㎜	呼び径 6.8 ㎜×長さ 50 ㎜
モーター			単相直巻整流子モーター	
全負荷電流			3 A	
消費電力			290 W	
無負荷回転数			0 ～ 1800 min^{-1} {0 ～ 1800 回／分}	0 ～ 650 min^{-1} {0 ～ 650 回／分}
質量(コードを除く)			1.4 kg	1.5 kg
コード			2 心キャブタイヤケーブル 5 m	

標準付属品

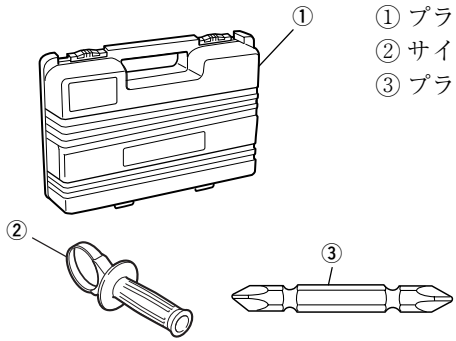


図　2

① プラスチックケース …… 1個
② サイドハンドル …… 1個
③ プラスドライバビットNo.2 …… 1個

別売部品

…… （別売部品は生産を打ち切る場合があります。）

1．フック……コードNo. 305411

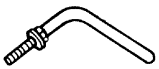


図3－1

2．プラスドライバビット

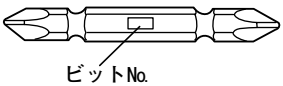


図3－2

用　途……頭がプラス溝の木ネジ，タッピンネジ，小ネジの締付け

寸　法……

ビットNo.	ネ ジ 径
No. 2	3～5 mm
No. 3	5～5.5 mm

3．マイナスドライバビット

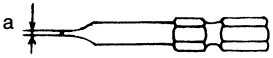


図3－3

用　途……頭がマイナス溝の木ネジや，小ネジの締付け

寸　法……

a	ネ ジ 径
0.8 mm	4 mm
1 mm	5～6 mm

4．ヘグザゴンソケット

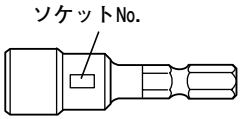


図3－4

用　途……ボルト，ナットの締付け

寸　法……

ソケットNo.	ネ ジ 径
7	4 mm
8	5 mm
10	6 mm

用　　途

○ 小ネジ，木ネジ，タッピンネジなどの締付け，ゆるめ
〔使用例〕アルミサッシ枠の取付け，カーテンレールの取付け，コンセントやスイッチボックスの取付け，その他日曜大工における木ネジ締め
○ 各種金属，木材，プラスチックなどの穴あけ

作業前の準備

作業前に次の準備をすませてください。

1．漏電しゃ断器の確認……

この製品は二重絶縁構造ですので，法律により漏電しゃ断器の設置は免除されていますが，万一の感電防止のため，漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

2．継ぎ（延長）コード……

⚠ 警　告

- **継ぎ（延長）コードは，損傷のないものを使用してください。**

電源の位置がはなれていて継ぎコードが必要なときは，製品を最高の能率で故障なくご使用いただくため，電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。

導体公称断面積	最大長さ
0.75 ㎟	20 m
1.25 ㎟	30 m
2 ㎟	50 m

左の表は，使用できるコードの太さ（導体公称断面積）とその最大長さを示します。

3．作業環境の整備・確認……

作業をする場所が注意事項にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

○騒音防止規制について
騒音に関しては，法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう，規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ，しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前に

⚠ 警　告

- **ご使用前に次のことを確認してください。1～4項については，さし込みプラグを電源にさし込む前に確認してください。**

1．使用電源を確かめる……

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に高速になり，機体が破壊する恐れがあります。また，直流電源で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく，事故の原因になります。

2．スイッチが切れていることを確かめる……

スイッチが入っているのを知らずにさし込みプラグを電源にさし込むと不意に起動し思わぬ事故のもとになります。スイッチはスイッチ引金（図1参照）を引くと入り，離すと切れます。

スイッチの引金を引き，離したとき引金が戻ることを必ず確認してください。

3．サイドハンドルを取付ける……

⚠ 警　告

- **サイドハンドルの握り部は十分に締付けてください。握り部の締付けがゆるいと作業時の反力を受けきれず，回ってしまい，けがの原因になります。**

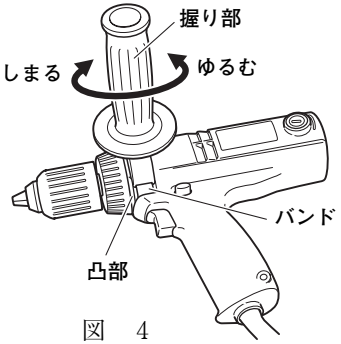


図　4

(1) サイドハンドルの握り部をゆるめます。

(2) バンドが凸部にのり上げないようにサイドハンドルをハウジング先端部に差し込みます。

(3) 作業に合った角度に合わせて握り部を十分に締付けてください。

4．錐の選び方……

(1) 金属やプラスチックなどに穴をあけるとき

使用錐径

形　名	最　小	最　大
DS 10 V	0.8㎜	10㎜
DS 13 V	1.5㎜	13㎜

普通の鉄工錐をご使用ください。

（2）木材に穴をあけるとき

木工錐最大穴あけ能力

形　名	能　力
ＤＳ 10 Ｖ	24㎜
ＤＳ 13 Ｖ	30㎜

木工錐をご使用ください。ただし6.5㎜以下の細い穴の場合は鉄工錐を使ってください。

5．ビットの選び方……

ネジ径に合ったビットを使用してください。ネジ径に合わないビットですと，ネジ頭部やビットをいためます。（8ページ参照）

6．電源コンセントの確認……

さし込みプラグをさし込んだとき，ガタガタだったり，すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。

お近くの電気工事店などにご相談ください。そのままお使いになりますと，

先端工具の取付け・取りはずし

⚠ 警　告

- **万一の事故を防止するため，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。**

⚠ 注　意

- **取付けや取りはずしの際，先端工具で手を傷付けないよう十分注意してください。**

注 • **スリーブをLOCK（固定）側にスライドさせた状態で無理に回さないでください。キーレスチャックが損傷する原因になります。**

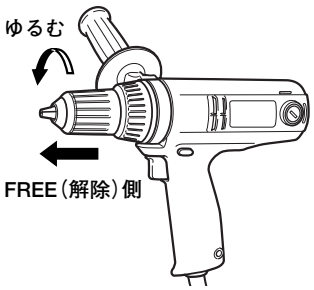


図　5－1

(1) 取付け方

①スリーブをFREE（解除）側へスライドさせます。

②スリーブを左方向（正面から見て反時計回り）に回すとキーレスチャックのつめが開きます。

③ドライバビットなどをキーレスチャックに挿入後，スリーブを右方向（正面から見て時計回り）に締めます。

④締め付け後，スリーブをLOCK（固定）側へスライドさせます。

注 • **必ずスリーブを，LOCK（固定）側にスライドさせてから使用してください。**

図　5－2

(2) 取りはずし方

①スリーブをFREE（解除）側へスライドさせます。
②スリーブを左方向に回してゆるめ，取りはずします。

○ スリーブがゆるまなくなった場合のゆるめ方

①下記の方法で，ドライバビットや木工錐などが回転しないように固定します。
　○ ドライバビットなどの固定例… ドライバビットなどをネジ頭に強く押しつけ固定する。
　○ 木工錐などの固定例…… 木片に木工錐などを強く押しつけ固定する。
②スリーブをFREE（解除）側へスライドさせます。
③キャップの位置を「3 ～ 13」にしてスイッチを入れ，モーターを回転させます。
④スリーブを左方向に回して，ゆるめます。

使　い　方

1．回転方向を確かめる……

注 • 回転方向を変えるときは，必ずスイッチを切ってモーターの回転が止まってから，プッシュボタンを操作してください。スイッチを切らずに直接プッシュボタンを切替えると，焼損の原因になります。

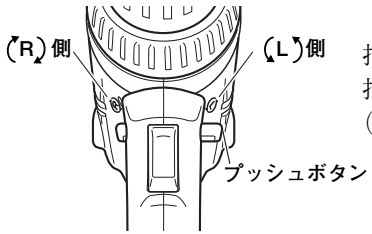


図　6

スイッチ部のプッシュボタンを〔R〕表示側から押すと後側から見て右へ回り，〔L〕表示側から押すと左へ回ります。（図6）
（〔R〕〔L〕は外枠に表示してあります。）

○ スイッチ引金の引込み量により回転数が変わります。ネジ締め開始や，穴あけのセンター決め時，引金を少し引込んでゆっくりスタートしてください。

2．キャップの位置を確かめる……

本機は，キャップ位置の調整で締付トルクが変えられます。

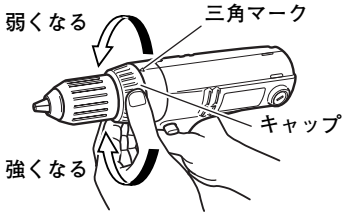


図　7－1

(1) ドライバとしてご使用の場合は，キャップの数字「1，3，5，……，22」または白丸を外枠の三角マークに合わせてください。(図7－1)

キャップの数字が大きくなると締付トルクが大きくなります。最適位置でご使用ください。

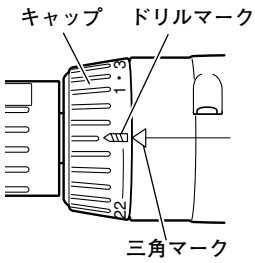


図　7－2

(2) ドリルとしてご使用の場合は，キャップのドリルマーク「 ◁ 」を外枠の三角マークに合わせてください。(図7－2)

注
- **キャップの数字「1，3，5，…，22」または白丸の中間では固定できません。(図7－3)**
- **「22」とドリルマーク「 ◁ 」の中間の白線部分では使用しないでください。故障の原因になります。(図7－4)**

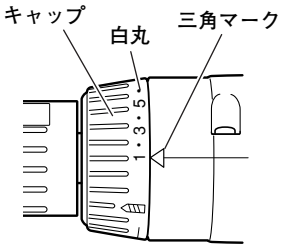


図　7－3

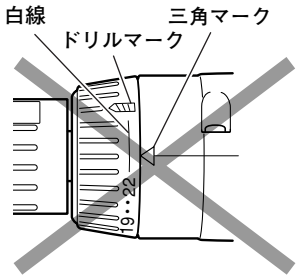


図　7－4

3．締付トルクの調整……

(1) 締付トルクについて

締付トルクは，ネジ径に応じた強さに調整してください。

強すぎるとネジが切れたり，ネジ頭を傷めますので締付けるネジに合わせて締付トルクを調整してください。(16ページの表3参照)

(2) 締付トルクの表示について

締付トルクは，ネジの種類，締付材料などにより異なります。本機は，キャップの数字「1，3，5，…，22」と白丸で締付トルクの目安を示しています。締付トルクは1の位置が最も弱く，数字が大きくなると段々強くなります。(図7－1)

(3) 締付トルク調整の仕方

キャップを回し，キャップの数字「1，3，5，…，22」または白丸を外枠の三角マークに合わせます。

締付トルクが弱いときは一段強い方に，強いときは一段弱い方にキャップを調整してください。

(4) 手締め機構について

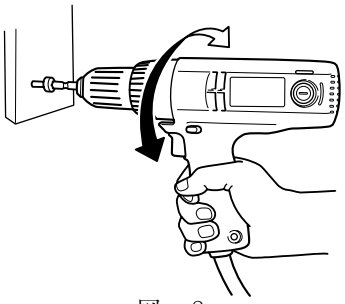


図　8

本機には，手締め機構がついており，手回しドライバとして使えます。

スイッチを切り，本体をまわしてください。

注 **• ヘグザゴンソケットなどでの無理な締付けや，締まりすぎたネジの無理なゆるめには使用しないでください。**

4．電気ドリルを押す力は……

必要以上に力をかけても決して早く穴はあきません。かえって錐先をいためて作業能率が低下するだけでなく，本機の寿命も短くなります。

5．突き抜け穴をあける場合……

穴の抜けぎわに錐を折ることがあります。穴の抜けぎわに押す力をゆるめることが大切です。

6．フック(別売部品)の取付け方……

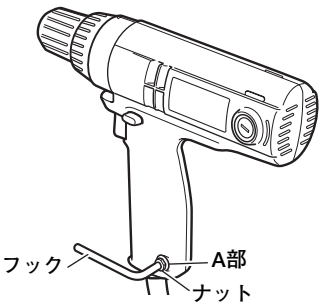


図　9

①フックを本体A部の穴にさし込み，時計方向に回します。

ナットがハウジングの座面についたらスパナでしっかり締付けます。

(図9)

②フックは反対側にも取り付けることができます。同じ手順で行なってください。

③フックは腰ベルト，または最大径28㎜までのパイプなどに掛けることができます。

7．使用直後の注意……

⚠ 警　告
• **作業中断時や作業後は，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。**

使用後はスイッチを切って，先端工具の回転が止まってから本機を置いてください。回転が止まらぬうちに切粉やごみの多い場所に置きますと，切粉やごみを吸い込むことがありますのでご注意ください。

使用範囲と注意事項について

下表に各種作業での使用可能範囲を示します。
（使用可能範囲は，穴あけやネジ締め材料の種類，硬さ，錐の切れ味などにより異なりますので，一応の目安と考えてください。）

ＤＳ 10 Ｖ　　表１

作　業	キャップ位置	使用可能範囲	注意事項
穴あけ		鋼　材，錐径 10㎜（板厚 1.6 ㎜）	ホールソーで連続作業する場合は穴あけ後，約 10 秒間無負荷運転してください。
		アルミ，錐径 10㎜（板厚 1.6 ㎜）	
		木　材，錐径 24㎜（板厚 18 ㎜）	
		ﾎｰﾙｿｰ，錐径 33㎜（板厚 1.6 ㎜）	
ネジ締め	1 ～ 22	ネジ径 6㎜	ネジ径に合ったビット，ソケットをご使用ください。
ナット締め		ネジ径 6㎜	
木ネジ締め	1 ～	呼び径 5.0 ㎜× 長さ 50㎜	下穴をあけてご使用ください。

ＤＳ 13 Ｖ

作　業	キャップ位置	使用可能範囲	注意事項
穴あけ		鋼　材，錐径 13㎜（板厚 1.6 ㎜）	ホールソーで連続作業する場合は穴あけ後，約 10 秒間無負荷運転してください。
		アルミ，錐径 13㎜（板厚 1.6 ㎜）	
		木　材，錐径 30㎜（板厚 18 ㎜）	
		ﾎｰﾙｿｰ，錐径 35㎜（板厚 1.6 ㎜）	
ネジ締め	1 ～ 22	ネジ径 6㎜	ネジ径に合ったビット，ソケットをご使用ください。
ナット締め		ネジ径 6㎜	
木ネジ締め	1 ～	呼び径 6.8 ㎜× 長さ 50㎜	下穴をあけてご使用ください。

締付トルクの選定

⚠ 注　意

- **キャップをドリルマーク位置にしたままでボルト，ナットの締付けをしないでください。締付け完了と同時に大きな負荷がかかって，振り回される恐れがあり，けがの原因になります。また，ボルトの破損や本体故障の恐れがあります。**

本機のキャップ位置における締付トルクと作業の目安を示します。

表3

キャップ位置	締付トルク	作業の目安
1	約0.49 N·m {5 kgf·cm}	小ネジの締付け やわらかい木材へのネジ締付け
3	約0.98 N·m {10 kgf·cm}	
9	約1.96 N·m {20 kgf·cm}	
13	約2.94 N·m {30 kgf·cm}	かたい木材へのネジ締付け
17	約3.92 N·m {40 kgf·cm}	
22	約4.9 N·m {50 kgf·cm}	
	DS10V：約7.85 N·m {80 kgf·cm}	太い木ネジ締付け ドリルとして使用時
	DS13V：約22.6 N·m {230 kgf·cm}	

保守・点検

⚠ 警　告

• 点検・手入れの際は，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

1．錐の点検……

錐の切れ味が悪くなったのをそのままご使用になっておりますとモーターに無理をかけることになり，また能率も落ちますから早めに再研磨するか新品と交換してください。

2．各部取付けネジの点検……

各部取付けネジでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら締めなおしてください。

ゆるんだままお使いになりますと，けがなど事故の原因になります。

3．カーボンブラシの点検……

モーター部には，消耗品であるカーボンブラシを使用しております。

カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと，モーターの故障の原因となりますので，長さが摩耗限度(5㎜)ぐらいになりましたら新品と交換してください。

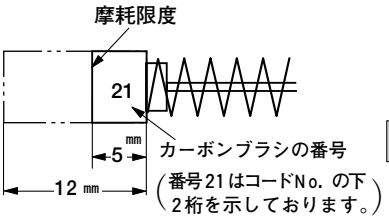


図　10

また，カーボンブラシはゴミなどを取り除いてきれいにし，ブラシホルダ内で自由にすべるようにしておいてください。

注 **• 新品と交換の際は，必ず図示の番号（21）の日立カーボンブラシを使用してください。**

交換方法

カーボンブラシは，マイナスドライバーなどでブラシキャップ（図1参照）をはずしますと取り出せます。

4．モーター部の取扱いについて……

モーター部の巻線部分は本機の心臓部ともいえます。巻線部分にキズをつけたり洗油や水をつけたりしないよう十分注意してください。

注 **• モーター内部にゴミやほこりがたまると，故障の原因になります。50時間ぐらい使用しましたら，モーターを無負荷運転させて，湿気のない空気をハウジングのスイッチ側風穴から吹き込んでください。ゴミやほこりの排出に効果があります。**

5．表面のよごれの清掃……

本機の外枠は強じんな合成樹脂製ですが，ガソリン，シンナー，石油，灯油類を付着させると表面をいためます。

清掃の場合は，かわいた布か石けん水をつけた布などでふいてください。

6．製品や付属品の保管……

使用しない製品や付属品の保管場所として，下記のような場所は避け，安全で乾燥した場所に保管してください。

- ○ お子様の手が届いたり，簡単に持ち出せる場所
- ○ 軒先など雨がかかったり，湿気のある場所
- ○ 温度が急変する場所
- ○ 直射日光の当たる場所
- ○ 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

} このような場所には保管しない。

ご修理のときは

この機体は，厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は，決してご自分で修理をなさらないでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。

ご不明のときは，裏表紙の営業拠点にご相談ください。

その他，部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら，ご遠慮なくお問い合わせください。

※　（外観などの一部を変更している場合があります。）

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(No.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日　　年　　月　　日	販売店
製造番号(No.)	電話番号

■ 日立工機電動工具センターにご用命のときは、下記の営業拠点にお問い合わせください。

● 全 国 営 業 拠 点

営業本部	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号（品川インターシティA棟） ☎(03) 5783-0626(代)
北海道支店	〒060-0003	札幌市中央区北三条西四丁目（日生ビル） ☎(011) 271-4751(代)
東北支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東三丁目3番36号 ☎(022) 288-8676(代)
東京支店	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号（品川インターシティA棟） ☎(03) 5783-0629(代)
中部支店	〒460-0008	名古屋市中区栄三丁目7番13号（コスモ栄ビル） ☎(052) 262-3811(代)
北陸支店	〒920-0058	金沢市示野中町一丁目163番 ☎(076) 263-4311(代)
関西支店	〒530-0001	大阪市北区梅田二丁目6番20号（スノークリスタル） ☎(06) 4796-8451(代)
中国支店	〒730-0011	広島市中区基町11番13号（第一生命ビル） ☎(082) 228-0537(代)
四国支店	〒761-0113	高松市屋島西町字百石1981 ☎(087) 841-6191(代)
九州支店	〒813-0062	福岡市東区松島四丁目8番5号 ☎(092) 621-5772(代)

● **電動工具ご相談窓口** ── お買物相談などお気軽にお電話ください。

お客様相談センター　フリーダイヤル 0120-20 8822（無料）

※携帯電話からはご利用になれません。（土・日・祝日を除く　午前9：00 ～ 午後5：00 ）

電動工具ホームページ ── http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/

日立工機株式会社

部品コード　C99094801　N